

薬量

0.03 g/m<sup>2</sup>

アップ

0.04 g/m<sup>2</sup>

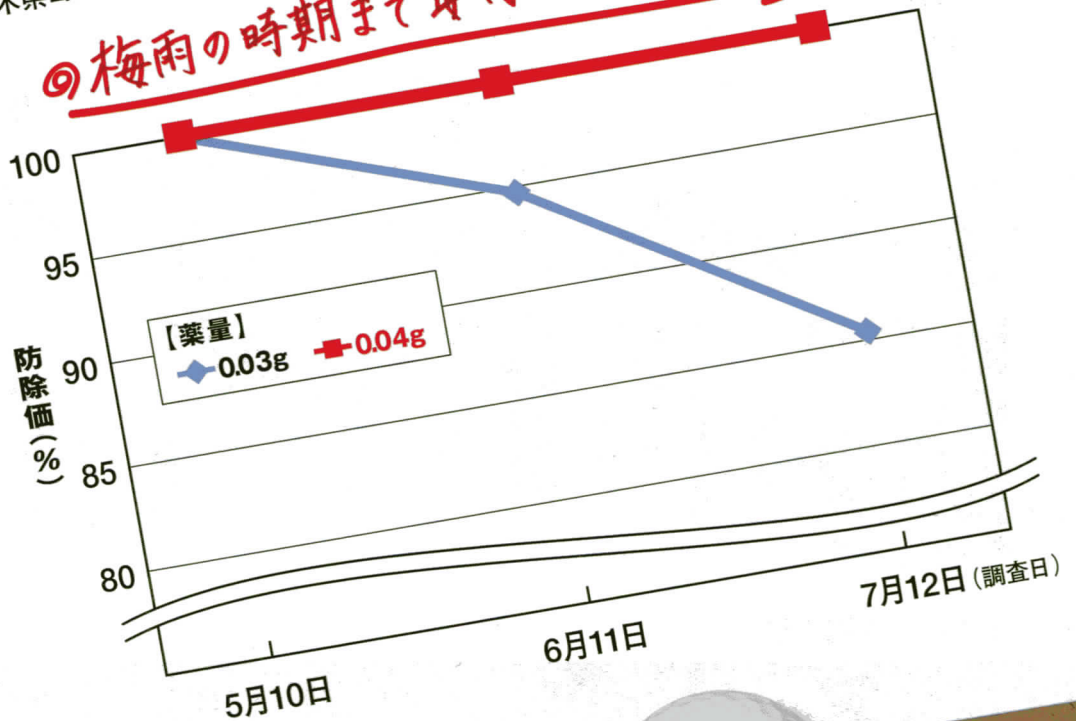
で

問題のヒメクグを、  
より長——く抑える!



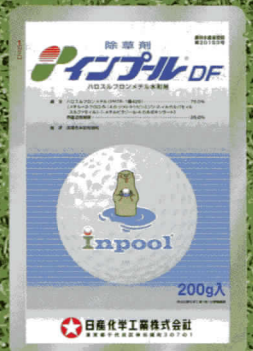
■ヒメクグに対する効果  
(栃木県ゴルフ場 1996年3月25日処理)

◎梅雨の時期まで安心!



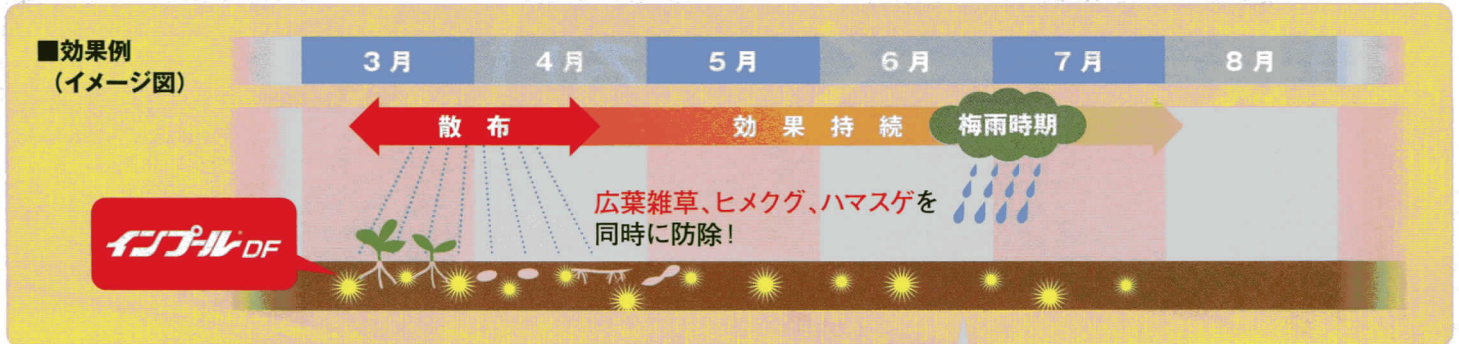
キャツリグサ科に定評の「ハロスルフロンメチル」剤!  
梅雨時期まで広葉雑草とヒメクグの問題から開放されます。

芝生用除草剤  
**インプール® DF**



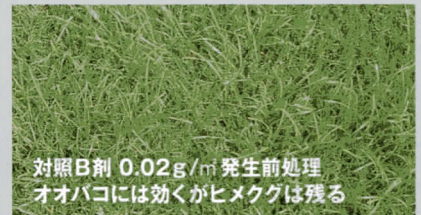
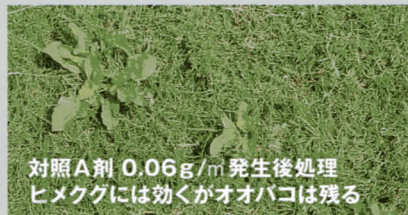
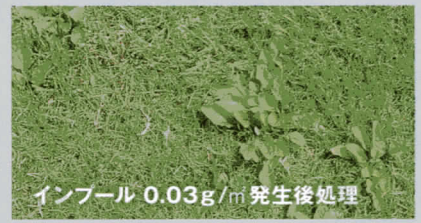
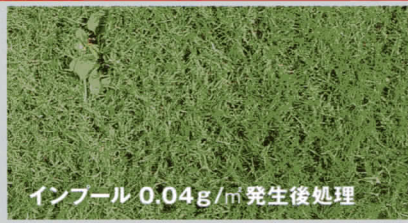
カヤツリグサ科雑草に評価の高い「ハロスルフロンメチル」が有効成分です。

春処理(0.04g/m<sup>2</sup>)で梅雨時期まで抑草！



ヒメクグも、オオバコも梅雨明けまで抑えています。

梅雨時期まで！



(処理日：2009年4月8日 発生後処理：2009年5月21日 撮影日：2009年6月24日)

■適用作物と使用方法

作物名	適用雑草	使用時期	㎡当りの使用量		本剤及びハロスルフロンメチルを含む農業の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
日本芝	広葉雑草 ヒメクグ ハマスゲ	芝生育初期～生育期 (雑草発生前～生育初期)	0.03～0.05g	200～300ml	3回以内	散布
西洋芝 (ベントグラス) (ブルーグラス)	広葉雑草					

⚠️ 効果・薬害などの注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 本剤の散布適期は、雑草の発生前から生育初期であるので時期を失しないように散布してください。
- イネ科雑草類は本剤に抵抗性が強いので、イネ科雑草が多い場合はこれに有効な土壌処理剤との組み合わせで使用してください。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物にかからないようその付近での散布はさけてください。
- 夏期高温時には葉焼け等の薬害を生じる恐れがあるので使用はさけてください。

- 本剤の散布に用いた器具類は、使用後直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠️ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
- 粉末は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2012年1月現在の登録内容に基づいています。